

ラディッシュ サラダの彩りに

ラディッシュはダイコンの仲間で、欧州系の極早生種です。根部は小さくて球形や細長い形で色は白、赤や紫色があります。別名をハツカダイコン（二十日大根）というように、適期には1カ月程度で収穫できます。中間地ではほぼ周年種まきができます。種は少なめにまきか、間引きを早めに行きって発芽時の軸の伸び過ぎを防ぎます。

【品種】

代表的な品種は、早生で赤丸の「ニューコメット」（タキイ種苗）、紡錘（ぼうすい）形で紅白の彩りの「紅白」（サカタのタネ）、太さ1cm程度の白色細長のミニダイコン「雪小町」（サカタのタネ）など、かわいらしい品種がたくさんあります。

【畑の準備】

種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100g、1週間前に化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥2kgを全面にまきます。よく耕し、幅90cm程度の栽培床（ベッド）を作り、平らにならしておきましょう（図1）。

【種まき】

条間15~20cmのまき溝をベッドに直角方向に切ります。まき溝は木板を土に押し付け、溝を付けると深さが一定になります（図2）。種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を薄くかぶせます。その後、乾燥や強い雨を防ぐために、べたがけ資材で覆います。

【間引き】

初め（図3-1）は本葉が見えた頃に重なっているところを抜き取ります。その後（図3-2）、葉が触れ合う程度に間引きをし、最終的（図3-3）に10cm間隔にします。最後の間引きのときに1平方m当たり化成肥料30g程度を条間にまき、根元に軽く土寄せします。

【病害虫の防除】

アオムシやコナガの被害から守るには、べたがけ資材や防虫ネットの利用が有効です。種まきから収穫までネット被覆をしても良いでしょう。

【収穫】

肥大が進んだ株から順次収穫します。赤色丸形の品種では直径2、3cmが適期です（図4）。育ち過ぎるとスが入ったり（中心部に空洞ができる状態になること）、球に亀裂が入ったりします。

図1 畑の準備

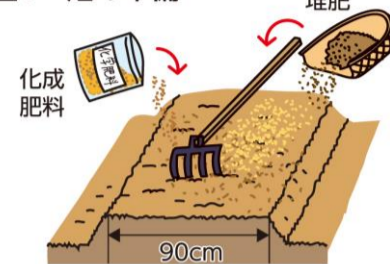


図2 種まき

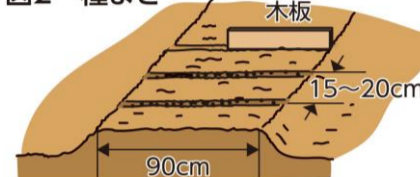
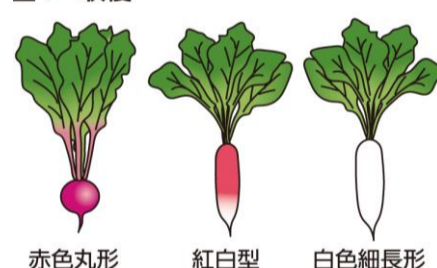


図3 間引き



図4 収穫



栽培カレンダー（ラディッシュ）

